



共 同 宣 言

鈴木俊一東京都知事とマハムード・シリーフ、カイロ県知事とは、東京及びカイロ両首都が長年に互って培ってきた尊敬と友情の関係を形あるものとするため、東京都とカイロ県との間に、友好都市関係を樹立することを決意した。

カイロ県は、エジプト・アラブ共和国の首都であるとともに、人類文明の溢る地のひとつとして悠久の歴史を誇る古都である。東京都は日本国の首都であるとともに、近代都市としての実質を独自の方法で発展させてきた世界有数の大都市である。我々は、そうした両都市の歴史と文化に見られる個性を尊重し、それぞれの相互理解と友好交流をより一層推進することが、世界平和の確立のために大きく貢献するものであることを確信する。

我々は、今後、都市行政の各般にわたる経験と知識の交流を促進することによって両首都の発展に資するとともに、文化交流、青少年交流などにおいて実りある交流事業を展開することによって、両首都市民の理解と連帯を深めることを、共通の意思として確認した。

我々は、東京都及びカイロ県の両議会の同意のもとに、ここに友好都市関係を結成することを公に宣言する。我々は、この宣言書を日本語及びアラビア語によってそれぞれ2通作成し、両首都の公文書館に保管する。

平成2年10月23日、カイロにて

東京都知事

カイロ県知事

鈴木 俊 一

マハムード・シリーフ